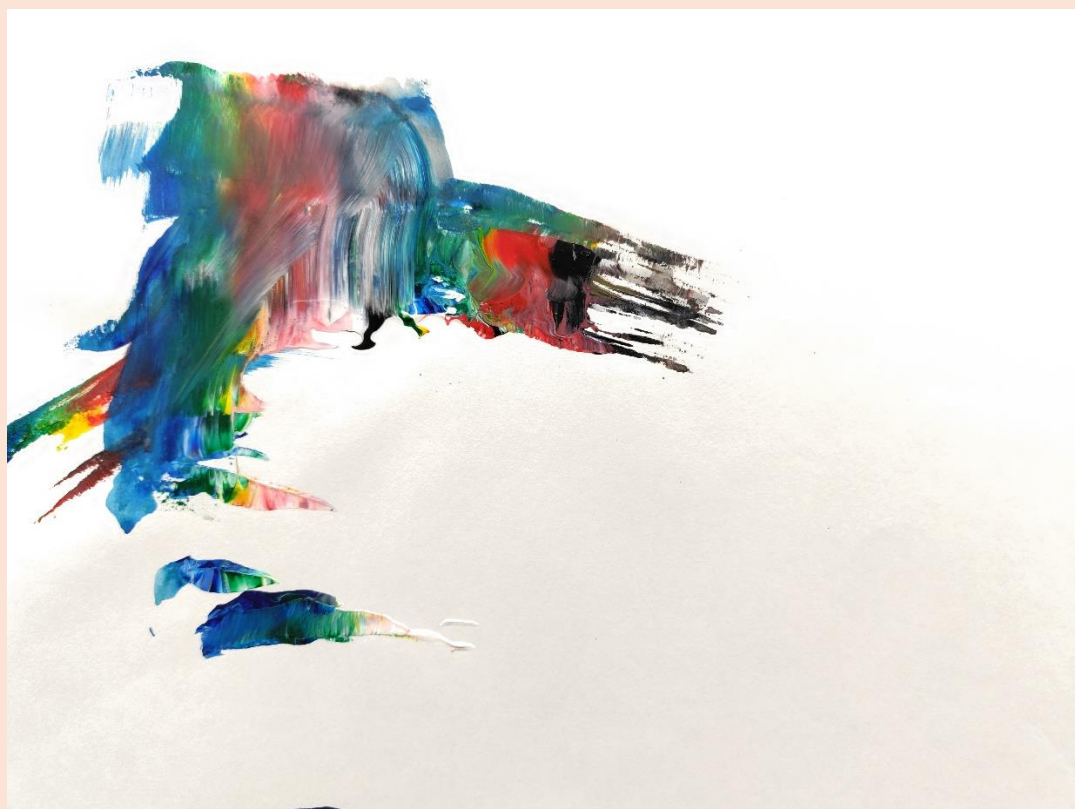


第84号 冬号 発行月：令和7年2月

和はっは



入所3Fフロア ご利用者 作品

もくじ

1.新年のご挨拶

2.about me8 作品紹介

3.冬まつりのご報告



新年のご挨拶



施設長 塩川智司

年が明けて少し経ちましたが、初めてご挨拶する方もいらっしゃると思われまので、本年のご挨拶を和っはっはっからさせていただきます。

ひと頃のコロナ禍は過ぎ去ってしまったかのように、街のにぎわいもどり、観光地では国内外の旅行者があふれるようになりました。その一方で、新型コロナウイルスだけでなく、インフルエンザ感染が拡大し、マイコプラズマ肺炎の3つが同時に流行する“トリプルデミック”なる言葉がでてきました。和らぎ苑では昨年、年末年始にわれわれもこの洗礼を受け、入所者さん、職員が新型コロナウイルス、インフルエンザに感染し、猛烈な勢いで感染が施設内に拡がりました。この状況下、長年コロナ禍で鍛えられたこともあり、現場スタッフの適切な対応と、ご家族皆様のご協力によって、影響は少なくありませんでしたが、短期間で感染拡大をくい止めることができました。迅速、適切に対応できたのは、和らぎ苑のチームワークの現れと思います。特に今年は感染症対策のみならず、遠からずやってくるであろうトラフ地震にも備えて、安全な環境づくりにチームワークで取り組んでいきたいと考えます。

さて、私は前施設長山野先生から施設長のバトンをお受けしてから本年度で10年目に入ろうとしています。山野先生から託されたのは、「1. 施設職員間の和を大切にすること。2. ご利用者を、愛をもって診る、支えること。」でした。改めて、わたしたちの使命が、職員とご家族で、利用者さんお一人おひとりの『life』を大切に支えることであると感じています。lifeには、1) いのち、2) 生活、3) 人生の意味があります。わたしたちの施設の使命は、利用者さんお一人おひとりの、生から死に至るまでの3つのlifeをご家族とともに職員全員、多職種協働で大切に支援することと考えます。障がいあるご利用者さんの存在は、われわれによい連携と多職種の協働を求めています。和らぎに着て10年目、今、それに応えてゆくことが山野先生に託されたわたしの使命であり、われわれの目標でもあります。皆さま本年もどうぞよろしくお願いいたします。

about me8 作品介绍

昨年、11月末～12月初旬までご利用の方が描かれた作品が、ルクアイーレで出展されました。他に作品を見ることが出来なかったというご意見を多く寄せられましたので、一部ですが掲載させていただきます。

